

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大垣女子短期大学				
設置者名	学校法人 大垣総合学園				

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
—	幼児教育学科	夜・通信	10		104	114	10		
—	デザイン美術学科	夜・通信			84	94	7		
—	音楽総合学科	夜・通信			171	181	7		
—	歯科衛生学科	夜・通信			48	58	10		
—	看護学科	夜・通信			57	67	10		
(備考) 平成31年度看護学科学生募集停止									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

- ・大垣女子短期大学ホームページ → 学生生活 → シラバス
<https://www.ogaki-tandai.ac.jp/life/syllabus/>
→ 実務家教員一覧 (PDF)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大垣女子短期大学
設置者名	学校法人 大垣総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大垣総合学園ホームページ
<https://osg.gku.ac.jp/index.html>
→ 役員・評議員

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019.4.4～ 2021.4.3	管理運営
非常勤	地方公共団体 首長	2019.4.4～ 2021.4.3	管理運営
非常勤	会社役員	2019.4.4～ 2021.4.3	管理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大垣女子短期大学
設置者名	学校法人 大垣総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

・授業計画書(シラバス)の作成過程

①教育課程における非常勤講師を含む全ての授業科目担当教員は、基本方針を具現化するための効果的な教育の実践を図るため、総合的な授業計画書であるシラバスを、授業開始までに作成しなければならないことを事前に周知、確認。

②シラバスを作成するために、教務委員会の案に基づいて学長は「シラバス作成要領」を作成し、研修等を通して非常勤講師を含む全ての授業科目担当者にシラバス作成を徹底。

③全ての授業科目において到達目標を定めるものとし、到達目標は各学科及び教養科目の教育目標及びD Pの内容を具現化した到達指標の下位目標となるよう設定し、4つの観点の内1つ以上から定める。

④授業科目を担当する全ての教員は、シラバスの記述内容について、専門教育(専門科目)については各学科長が、教養教育(教養科目)については総合教育センター長が、必要に応じて教務委員とともに、基本方針、D Pとの関係性に関する点検を行い、必要があると判断した場合には訂正や書き直しを行う。

・授業計画書(シラバス)の作成・公表時期

授業計画書(シラバス)の作成時期：前年度の1月から3月

授業計画書(シラバス)の公表時期：当該年度4月

授業計画書の公表方法	大垣女子短期大学ホームページ → 学生生活 → シラバス https://www.ogaki-tandai.ac.jp/life/syllabus/
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

・基本方針に基づく本学の教育の質保証及び学修成果の可視化に向けて、成績評価については、達成水準及び測定手法の明確化を図っていくものとしている。

学修成果に基づき、AA(秀) 100点～90点、A(優) 89点～80点、B(良) 79点～70点、C(可) 69点～60点のよう、判定基準を設定している。

・成績評価の達成水準及び測定手法の明確化を図るために、本学学則、教務規程及び履修に関する要項に加えて、成績の評価基準及び観点別評価等を規定する「成績評価に関する実施要領」を、教務委員会の案に基づき、学長が作成している。

授業計画(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、単位授与を行っている。学生にあらかじめ示した授業計画(シラバス)に記載した客観的な評価方法と基準に基づき、学修成果の評価を行っている。

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学のG P Aは、学生個々の学修時間当たりの学修到達度を表わす指標となる数値を、履修した授業科目のG Pに、当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値を表している。 ・学生には、対象者を特定することなく示すために、G P A値について「学生要覧」に記載している。また、「大垣女子短期大学G P A制度に関する要項」も「学生要覧」に示し、周知させている。 <p>また、個人のG P A値については、成績表にも記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣女子短期大学学生の学修状況として、G P A値等の客観的な指標をホームページに公表している。 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>大垣女子短期大学ホームページ</p> <p>→ 大学案内 → 大学情報の公表</p> <p>→ 教育情報の公開について</p> <p>→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)</p> <p>https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/</p> <p>→ 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容は、本学の建学の精神及び設置目的等に基づいて、卒業認定・学位授与に関する方針 (D P)、教育課程編成・実施の方針 (C P)、入学者受入の方針 (A P) を定めている。 ・学生が「何ができるようになるか」に力点を置き、D P及び到達指標を4つの観点（「知識・理解」、「思考・判断・表現」、「技能」、「関心・意欲・態度」）から定めている。 ・学則に示しているとおり、本学に修業年限以上在学し、卒業認定・学位授与に関する方針 (D P) のもと、学則に定める授業科目及び単位数を修得した者に、学長が卒業を認定している。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>大垣女子短期大学ホームページ</p> <p>→ 大学案内 → 大学情報の公表</p> <p>→ 教育情報の公開について</p> <p>→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)</p> <p>https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/</p> <p>→ 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大垣女子短期大学
設置者名	学校法人 大垣総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html → 財務情報の公開
収支計算書又は損益計算書	学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html → 財務情報の公開
財産目録	学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html → 財務情報の公開
事業報告書	学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html → 財務情報の公開
監事による監査報告（書）	学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html → 財務情報の公開

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：大垣女子短期大学 事業計画 対象年度：2019年度）
公表方法：非公表
中長期計画（名称：学校法人大垣総合学園中期5ヶ年計画 対象年度：2018～2022年度）
公表方法：非公表

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：大垣女子短期大学ホームページ
→ 大学案内 → 自己点検・評価
<https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/third-party/>

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大垣女子短期大学ホームページ
→ 大学案内 → 短期大学基準協会認証評価結果
<https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/evaluation/>

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受け入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育学科
教育研究上の目的 (公表方法: 大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF) http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/ → 1. 教育研究上の目的)
(概要) 専門的な知識と技能に基づいて、教育・保育と子育て支援にあたることのできる保育者の養成
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF) http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/ → 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準)
(概要) 【全学方針 (全学DP)】 1. [知識・理解] 専門的知識と社会人に求められる教養について理解を深め、必要な知識を確実に身につけることができる。 2. [思考・判断・表現] 社会で活かせる思考力と表現力を身につけ、知識や技能を活用しながら判断して、課題解決に取り組むことができる。 3. [技能] 専門的な技能や技術を確実に修得し、コミュニケーション能力を身につけて、これらを活用することができる。 4. [関心・意欲・態度] 社会や環境への関心を持ち意欲をもって学修活動に取り組めるとともに、徳性の涵養と健康な身体づくりができる。 【学科方針 (学科DP)】 1. [知識・理解] 保育の本質を理解し、保育者として専門的知識に基づき、子ども理解に基づいた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。 2. [思考・判断・表現] 保育の本質を基盤に、時代のニーズに柔軟に対応した保育実践及び改善を行うことができ、外部の資源を有効に活用することができる。 3. [技能] 保育実践に必要な保育技術や情報収集能力をもち、子どもとの関係を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。 4. [関心・意欲・態度] 豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資質能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していくことができる。 教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について)

- 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)
<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>
 → 5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画)

(概要)

豊かな教養と人間性を備え、子どもへの深い愛情を育むとともに教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これらと実習や保育実務研修との往還で、よりいっそう社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援に携わることのできる人材の育成を目的とし、教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 子どもの健やかな成長、幸せのために、子ども理解を基に援助できる能力や、子育て支援に係わる能力を育成する専門教育を実施する。
3. 実習や保育実務研修、子育てサロンへの参画など実践現場での学びと、関連する大学での学びとの往還によって、保育実践で求められる実務能力や社会人基礎力など保育力が身につく教育を実施する。
4. 保育のスペシャリストとして、社会の諸問題を解決するための知識・技能・思考力や、自らのもつ能力を伸ばすことのできる専修科目を設ける。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

- 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について
 → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)
<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>
 → 4. 入学者に関する受入方針及び入学者数、収容定員等)

(概要)

【全学方針（全学A P）】

次の内容を身につけ、本学の教育理念にそって学修に努力して取り組んでいこうとする人とする。

1. [知識・理解] 学びに必要となる基礎的・基本的な知識や概念
2. [思考・判断・表現] 学びにおける課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力
3. [技能] 学びに必要となる基礎的・基本的な技能
4. [関心・意欲・態度] 学びの内容に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度

【学科方針（学科A P）】

1. [知識・理解] 保育者となるために必要となる基礎的な学力を有する。
2. [思考・判断・表現] 保育に関する専門性を高められるように、課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力を将来にわたって培うことができる。
3. [技能] 保育者になるための基本的なコミュニケーション能力と協調性とを持ち、専門的な技能を修得できるように努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 子どもへの深い愛情をもち、社会の動向に関心を寄せ、様々な課題に対応でき、社会的貢献への意欲をもっている。

<p>学部等名 デザイン美術学科</p> <p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF) http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/ → 1. 教育研究上の目的)</p>
<p>(概要)</p> <p>造形表現力の助長とすべての学生生活を通して個々人の人間性の涵養</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF) http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/ → 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準)</p>
<p>(概要)</p> <p>【全学方針（全学D P）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [知識・理解] 専門的知識と社会人に求められる教養について理解を深め、必要な知識を確実に身につけることができる。 2. [思考・判断・表現] 社会で活かせる思考力と表現力を身につけ、知識や技能を活用しながら判断して、課題解決に取り組むことができる。 3. [技能] 専門的な技能や技術を確実に修得し、コミュニケーション能力を身につけて、これらを活用することができる。 4. [関心・意欲・態度] 社会や環境への関心を持ち意欲をもって学修活動に取り組めるとともに、徳性の涵養と健康な身体づくりができる。 <p>【学科方針（学科D P）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [知識・理解] 美術における理論と制作を通し、美術に対する知識と理解を有することができる。 2. [思考・判断・表現] 制作において考え、選択し、表現することを、自己の制作の中で展開し、表現することができる。 3. [技能] 美術表現上、必要な技法を修得する。研究し、継続した結果、自己表現につなげることができる。そして、その表現を人に伝えるコミュニケーション能力がある。 4. [関心・意欲・態度] 美的なものに興味を持ち、多様なものを吸収し、選択する。また、真摯な態度で物事に当たり意欲的に研究し、表現に繋げることができる。そして人との関わりの中、地域との連携、貢献を推進していくことができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF) http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/ → 5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画)</p>

(概要)

生涯にわたる素養として「美術」を感じ、更に自らを表現できる技能を定着させたい。その目標の下、美術の全体像を見失うことなく、基礎から応用発展へと繋がる科目及び科目群相互の連携を意図し、教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 一年次前期に基礎領域全般を学び、理論と実技を通し関心と理解を深める。
3. 描写系科目を造形表現の基本とし、関連科目を充実させ自己の表現力と技術力を向上させる。
4. 学生はどの授業でも受講でき、多様性のある豊かな受講計画が考えられる。
5. 手を動かす、手で作る、手で描くことを基本とするも、コンピュータ使用における表現性、世界観を重視し、どの授業も学生は受講でき、それぞれの「美術」を考える。
6. 各科目担当者は学生との対話に努め、能力に応じた個別指導を行い、学生一人ひとりの成長を支援する。また社会との関わりの大切さ、必要性を考え、地域との連携を行う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

- 大学案内
- 大学情報の公表
- 教育情報の公開について
- 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)
- <http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>
- 4. 入学者に関する受入方針及び入学者数、収容定員等)

(概要)

【全学方針（全学A P）】

次の内容を身につけ、本学の教育理念にそって学修に努力して取り組んでいこうとする人とする。

1. [知識・理解] 学びに必要となる基礎的・基本的な知識や概念
2. [思考・判断・表現] 学びにおける課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力
3. [技能] 学びに必要となる基礎的・基本的な技能
4. [関心・意欲・態度] 学びの内容に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度

【学科方針（学科A P）】

1. [知識・理解] 美術に関する基礎的な知識を有し、美術的表現を理解する努力ができる。
2. [思考・判断・表現] 美術的表現に関わる基礎的な思考力・判断力を有し、自己を表現する努力ができる。
3. [技能] 美術表現における基本的な物を見つめる力、描く力、造る力を有し、自己表現を伝えるコミュニケーション能力を持つ努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 美術に関心を持ち、個としての表現を高め、又、コミュニケーション能力をもち、地域、社会と協調性を有する努力ができる。

学部等名 音楽総合学科

教育研究上の目的

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 1. 教育研究上の目的)

(概要)

広範囲な教養及び高度な専門知識、技術を身につけた有能な人材の育成

卒業の認定に関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準)

(概要)

【全学方針（全学D P）】

1. [知識・理解] 専門的知識と社会人に求められる教養について理解を深め、必要な知識を確実に身につけることができる。
2. [思考・判断・表現] 社会で活かせる思考力と表現力を身につけ、知識や技能を活用しながら判断して、課題解決に取り組むことができる。
3. [技能] 専門的な技能や技術を確実に修得し、コミュニケーション能力を身につけて、これらを活用することができる。
4. [関心・意欲・態度] 社会や環境への関心を持ち意欲をもって学修活動に取り組めるとともに、徳性の涵養と健康な身体づくりができる。

【学科方針（学科D P）】

1. [知識・理解] 音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
2. [思考・判断・表現] 音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。
3. [技能] 音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
4. [関心・意欲・態度] 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人と関わり、地域との連携、音楽文化の向上に向けた社会貢献を推進していくことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画)

(概要)

音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通しての豊かな教養と人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を育成するために、次の教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶために基礎教育と専門教育を実施する。
3. 地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動を学び推進させるために充実した学外演奏や学外ボランティア活動、実習を実施する。
4. 各コース担当者は授業時間内外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。
5. 学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。
6. 音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について
→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)
<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>
→ 4. 入学者に関する受入方針及び入学者数、収容定員等)

(概要)

【全学方針（全学AP）】

次の内容を身につけ、本学の教育理念にそって学修に努力して取り組んでいこうとする人とする。

1. [知識・理解] 学びに必要となる基礎的・基本的な知識や概念
2. [思考・判断・表現] 学びにおける課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力
3. [技能] 学びに必要となる基礎的・基本的な技能
4. [関心・意欲・態度] 学びの内容に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度

【学科方針（学科AP）】

1. [知識・理解] 音楽の学びに必要となる基礎的な学力を有する。
2. [思考・判断・表現] 音楽人として課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力を将来にわたって培うことができる。
3. [技能] 音楽人となるための基礎的なコミュニケーション能力と協調性を持ち、専門的な技能を修得できるように努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 音楽全般に幅広く関心を持って主体的に取り組み、音楽を通じて社会的貢献をする意欲をもっている。

学部等名 歯科衛生学科

教育研究上の目的

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 1. 教育研究上の目的)

(概要)

口腔保健・医療・福祉における専門的知識及び技術をもった人材の育成

卒業の認定に関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準)

(概要)

【全学方針（全学D P）】

1. [知識・理解] 専門的知識と社会人に求められる教養について理解を深め、必要な知識を確実に身につけることができる。
2. [思考・判断・表現] 社会で活かせる思考力と表現力を身につけ、知識や技能を活用しながら判断して、課題解決に取り組むことができる。
3. [技能] 専門的な技能や技術を確実に修得し、コミュニケーション能力を身につけて、これらを活用することができる。
4. [関心・意欲・態度] 社会や環境への関心を持ち意欲をもって学修活動に取り組めるとともに、徳性の涵養と健康な身体づくりができる。

【学科方針（学科D P）】

1. [知識・理解] 全身的観点から口腔の健康支援ができるための専門的な知識や医療人として社会に貢献していくための知識を修得することができる。
2. [思考・判断・表現] 歯科衛生士とし人々の健康問題の解決に向けて、生物・心理・社会的な観点から論理的に考え判断ができ、さらに適切な説明ができる。
3. [技能] 歯科衛生士としての基本的な操作的技術能力やプレゼンテーションする力があり、他職種と協働連携するチーム医療が理解でき、患者や地域社会とも関わるコミュニケーション能力がある。
4. [関心・意欲・態度] 医療人としての自己管理ができ、将来に向けての職業的使命感を持ち、自らが関心と意欲を持って地域との連携や地域貢献を推進していくことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画)

(概要)

豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成するため、次のような教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. すべてのライフステージにおける対象者の口腔の健康支援ができるための基礎教育と専門教育を実施する。
3. チーム歯科医療の一員として患者のニーズに応え信頼される医療人となるため、全身状態の理解・把握を目指した臨床医学教育を実施する。
4. 専門化する歯科医療に対応し、さらに地域との連携や地域貢献を推進していく能力を身につけるため、育成専修クラスを含めた臨床・臨地実習等を実施する。
5. 歯科衛生士の国家資格取得を支援するための教育を実施する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 4. 入学者に関する受入方針及び入学者数、収容定員等)

(概要)

【全学方針（全学AP）】

次の内容を身につけ、本学の教育理念にそって学修に努力して取り組んでいこうとする人とする。

1. [知識・理解] 学びに必要となる基礎的・基本的な知識や概念
2. [思考・判断・表現] 学びにおける課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力
3. [技能] 学びに必要となる基礎的・基本的な技能
4. [関心・意欲・態度] 学びの内容に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度

【学科方針（学科AP）】

1. [知識・理解] 医療人になるために必要となる基礎的な学力を有する。
2. [思考・判断・表現] 歯科衛生士として課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力を将来にわたって培うことができる。
3. [技能] 歯科衛生士になるための基本的なコミュニケーション能力と協調性を持ち、専門的な技能を修得できるように努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 保健・医療・福祉の分野に関心があり、社会的貢献をする意欲をもっている。

学部等名 看護学科

教育研究上の目的

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 1. 教育研究上の目的)

(概要)

豊かな人間性を基盤に、看護に必要な専門的知識・技術・態度を身につけた有能な人材の育成

卒業の認定に関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっての基準)

(概要)

【全学方針（全学DP）】

1. [知識・理解] 専門的知識と社会人に求められる教養について理解を深め、必要な知識を確実に身につけることができる。
2. [思考・判断・表現] 社会で活かせる思考力と表現力を身につけ、知識や技能を活用しながら判断して、課題解決に取り組むことができる。
3. [技能] 専門的な技能や技術を確実に修得し、コミュニケーション能力を身につけて、これらを活用することができる。
4. [関心・意欲・態度] 社会や環境への関心を持ち意欲をもって学修活動に取り組めるとともに、徳性の涵養と健康な身体づくりができる。

【学科方針（学科DP）】

1. [知識・理解] 看護の基盤となる人間理解と看護実践に必要な知識を習得することができる。
2. [思考・判断・表現] 人々の健康問題の解決に向けて論理的に思考・判断するとともに、専門職としての責務について考えることができる。
3. [技能] 看護活動に必要な専門的技術・態度・コミュニケーション能力を身につけ、看護を実践できる。
4. [関心・意欲・態度] 保健・医療・福祉分野の動向に関心をもち、人々の健康生活を守るとともに地域連携・地域貢献を推進していくために、自己の知識や技術の向上をめざして主体的かつ探求的な姿勢をもつことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画)

(概要)

豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた看護の専門的知識・技術を身につけ、変化する社会のニーズに対応し広く貢献できる人材を育成するために、次のような教育課

程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 健康のあらゆるレベルにある対象者に適切な看護を実施できるための基礎教育と専門教育を実施する。
3. 講義や演習で学んだことを臨床現場で統合し、対象に応じた看護を実施できる能力を身につけるとともに、地域との連携、地域貢献を推進していくための素地を身につけるために臨地実習を実施する。
4. 看護専門職として自らの興味・関心に沿って探求する研究的態度と自己学習できる主体性・自律性を高めるために設定した発展科目を履修する。また、講義等の展開においてはグループワーク、討論、ゼミナール形式等を効果的に導入する。
5. 国家資格取得を支援する教育を実施する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 4. 入学者に関する受入方針及び入学者数、収容定員等)

(概要)

【全学方針（全学AP）】

次の内容を身につけ、本学の教育理念にそって学修に努力して取り組んでいこうとする人とする。

1. [知識・理解] 学びに必要となる基礎的・基本的な知識や概念
2. [思考・判断・表現] 学びにおける課題解決に必要となる基礎的な思考力・判断力・表現力
3. [技能] 学びに必要となる基礎的・基本的な技能
4. [関心・意欲・態度] 学びの内容に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度

【学科方針（学科AP）】

1. [知識・理解] 看護職を目指すために必要な基礎学力を有し、継続的な知識の向上に努めることができる。
2. [思考・判断・表現] 課題解決に向けて、自分の考えをまとめ言語で表現できる。
3. [技能] 人を思いやる心とコミュニケーション能力を備え、他者と協同し専門的技能修得をめざして努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 社会の動向や変化に関心を持ち、求められる看護専門職者にふさわしい態度・行動を積極的に身につける意欲をもっている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

→ 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について

→ 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF)

<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/>

→ 2. 教育研究上の基本組織

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）																		
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計											
—	3人	—																
幼稚教育学科	—	3人	2人	3人	0人	0人	8人											
デザイン美術学科	—	2人	3人	1人	0人	0人	6人											
音楽総合学科	—	3人	2人	0人	0人	0人	5人											
歯科衛生学科	—	3人	2人	3人	1人	0人	9人											
看護学科	—	1人	0人	8人	3人	0人	12人											
b. 教員数（兼務者）																		
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計											
0人			119人				119人											
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 専任教員一覧 https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/teacher/																	
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）																		
・平成30年度は、「平成30年度FD研修会実施要項」に基づき、実施されている。																		

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
幼稚教育学科	50人	44人	88.0%	150人	122人	81.3%	0人	0人
デザイン美術学科	50人	37人	74.0%	100人	63人	63.0%	0人	0人
音楽総合学科	50人	45人	90.0%	100人	95人	95.0%	0人	0人
歯科衛生学科	50人	49人	98.0%	150人	157人	104.7%	0人	0人
看護学科	募集停止	募集停止	募集停止	160人	175人	109.4%	0人	0人
合計	200人	175人	87.5%	660人	612人	92.7%	0人	0人

(備考)
看護学科は、平成31年度入学生から学生募集停止。

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科	35 人 (100%)	0 人 (0%)	33 人 (94.3%)	2 人 (5.7%)
デザイン美術学科	31 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (67.7%)	10 人 (32.3%)
音楽総合学科	60 人 (100%)	1 人 (1.7%)	51 人 (85.0%)	8 人 (13.3%)
歯科衛生学科	53 人 (100%)	0 人 (0%)	51 人 (96.2%)	2 人 (3.8%)
看護学科	77 人 (100%)	0 人 (0%)	71 人 (92.2%)	6 人 (7.8%)
合計	256 人 (100%)	1 人 (0.4%)	227 人 (88.7%)	28 人 (10.9%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

<幼児教育学科>(株)天木鉄工／大垣市／安八町／垂井町／池田町／養老町／長浜市／浅草ひかりにこにこ園／宝林保育園／大野クローバー幼稚園／樹心寮

<デザイン美術学科>(資)垂井日之出印刷所／永田印刷(資)／野原電研(株)／(株)コームラ／アイチマイクロ(株)／サート一電子(株)／(株)彩工社／バロー(株)／(株)グルマンマルセ／ホッタ／(株)高木ミンク

<音楽総合学科>ヨモギヤ楽器(株)／(株)河合楽器製作所／ユリ楽器(株)／(株)オオノ楽器／ミヤザワフルート製造(株)／大垣西濃信用金庫／J A新潟／(株)松栄堂楽器

<歯科衛生学科>大垣市民病院／ビバ・スマイル歯科／安藤歯科／とむ歯科クリニック／補天堂あおき歯科／赤羽歯科／いぬい歯科クリニック／田中矯正歯科医院

<看護学科>大垣市民病院／博愛会病院／大垣徳洲会病院／揖斐厚生病院／岐阜県総合医療センター／岐阜市民病院／岐阜ハートセンター／松波総合病院

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児教育学科	36人 (100%)	35人 (97.2%)	0人 (0%)	1人 (2.8%)	0人 (0%)
デザイン美術学科	34人 (100%)	31人 (91.2%)	0人 (/0%)	3人 (8.8%)	0人 (0%)
音楽総合学科	61人 (100%)	60人 (98.4%)	0人 (0%)	1人 (1.6%)	0人 (0%)
歯科衛生学科	61人 (100%)	50人 (82.0%)	2人 (3.3%)	7人 (11.5%)	2人 (3.3%)
看護学科	83人 (100%)	70人 (84.3%)	7人 (8.4%)	2人 (2.4%)	4人 (4.8%)
合計	275人 (100%)	246人 (89.5%)	9人 (3.3%)	14人 (5.1%)	6人 (2.2%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

- ・授業計画書（シラバス）の作成過程
 - ①教育課程における非常勤講師を含むすべての授業科目担当教員は、基本方針を具現化するための効果的な教育の実践を図るため、総合的な授業計画であるシラバスを、授業開始までに作成しなければならないことを確認。
 - ②シラバスを作成するために、教務委員会の案に基づいて学長は「シラバス作成要領」を作成し、研修等を通して非常勤講師を含むすべての授業科目担当者にシラバス作成を徹底。
 - ③すべての授業科目において、到達目標をそれぞれ定めるものとし、到達目標は各学科及び教養科の教育目標及びDPの内容を具現化した到達指標の下位目標となるよう設定し、4つの観点の内1つ以上から定める。
 - ④授業科目を担当するすべての教員は、シラバスの記述内容について、専門教育（専門科目）については各学科長が、教養教育（教養科目）については総合教育センター長が、必要に応じて教務委員とともに、基本方針、DPとの関係性に関する点検を行い、必要があると判断した場合には訂正や書き直しを行う。
- ・授業計画書（シラバス）の作成・公表時期

授業計画書（シラバス）の作成時期：前年度の1月から3月
授業計画書（シラバス）の公表時期：当該年度4月

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

学修の成果に係る評価とした「成績評価の基準」は、教務規程に定めた上で全学共通の基準を定めて学生に明示している。成績評価は100点を満点とし、60点以上を合格、それに満たないものは不合格としている。成績の評価は、課題への対応状況、授業への取組状況、筆記試験、実技試験、口述試験、レポート、論文、作品等提出物によって行われ、シラバスに明記された評価基準に基づいて評価している。成績の表示については、100点満点のうち、90～100点を秀（AA）、80～89点を優（A）、70～79点を良（B）、60～69点を可（C）、59点以下を不可（D）としている。

短期大学設置基準第18条及び、学則第35条、第36条に基づき、デザイン美術学科・音楽総合学科は2年、幼稚教育学科・歯科衛生学科は3年以上在学し、卒業に必要となる所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	幼稚教育学科	95単位	（有）無	25単位
—	デザイン美術学科	65単位	（有）無	25単位
—	音楽総合学科	65単位	（有）無	25単位
—	歯科衛生学科	97単位	（有）無	25単位
—	看護学科	100単位	（有）無	25単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）				
公表方法：大垣女子短期大学学生要覧				
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)				
公表方法：大垣女子短期大学ホームページ → 大学案内 → 大学情報の公表 → 教育情報の公開について → 大垣女子短期大学の教育情報の公開 2019 (PDF) http://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/education/ → 6. 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に あたっての基準)				

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：・大垣女子短期大学ホームページ
→ 学生生活 → キャンパスMAP
<https://www.ogaki-tandai.ac.jp/life/life-map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
-	幼児教育学科	600,000 円	250,000 円	240,000 円	平成 31 年度入学者
			200,000 円		平成 30 年度以前入学者
-	デザイン美術学科	600,000 円	250,000 円	410,000 円	平成 31 年度入学者
			200,000 円		平成 30 年度以前入学者
-	音楽総合学科	600,000 円	250,000 円	540,000 円	平成 31 年度入学者
				690,000 円	平成 31 年度入学者(※)
		600,000 円	200,000 円	500,000 円	平成 30 年度以前入学者
-	歯科衛生学科	600,000 円		650,000 円	平成 30 年度以前入学者(※)
			250,000 円	390,000 円	平成 31 年度入学者
			200,000 円	350,000 円	平成 30 年度以前入学者
-	看護学科	—	—	—	平成 31 年度学生募集停止
		600,000 円	200,000 円	550,000 円	平成 30 年度以前入学者

※ 音楽総合学科管打楽器リハコース選択者のみ、教材費として別途年間 15 万円を要す

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

学内奨学金制度（就学支援、成績優秀、同窓生、社会人、安田特別）を設けており、経済的困窮者や学業優秀者などの経済的支援を行っている。また、短期大学生調査や卒業生満足度調査を毎年度実施し、結果を各学科長から全教職員に周知し、各学科の総括を共有することで支援の幅を広げている。

通学面では、JR 大垣駅から本学までのスクールバス（無料）を、地元路線バス会社に委託して運行しており、授業や行事に合わせて運行時間を変更するなどの配慮を行っている。教育面では、入学前教育、初年次教育を実施し、大学の授業にスムーズに移行できるよう支援を行っている。さらに、チューター制度を取り入れ、担当教員がアカデミック・アドバイザーとして修学支援から学生生活全般の指導・相談ができる体制を整えている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

チューター制度を活用し、担当教員と就職支援課で連携して進路相談にあたっている。

資格取得に関しては、日本語検定を 1 年次生全員に受検させている。また、CG 検定など学内で受験可能な資格を奨励し、介護職員初任者研修は、隣接の専門学校に委託、本学学生専用の時間割で開講してもらっている。また、同一法人下の岐阜協立大学で開講している資格取得講座も受講できるよう配慮している。

就職支援に関しては、「教養・キャリア基礎演習 I」、「教養・キャリア基礎演習 II」、「就職支援講座」、「基礎教養特講座」内で、社会人基礎力、各学科の専門分野の方や卒業生の講話、就職試験対策講座、公務員試験対策講座などを行っている。また、学内で企業説明会やセミナーを行い、事業所担当者と接する機会を設けている。そのほか、事務局内に就職相談コーナーを設け、求人票や企業パンフレット、外部で開催されるガイダンス案内、就職試験対策書籍などを自由に閲覧できるよう配置している。また、毎年度就職先事業所に対して雇用者アンケート調査を実施し、結果

は各学科から全教員に周知、現状を認識している。さらに、就職支援講座の内容構築に活かしている。幼児教育学科、デザイン美術学科、音楽総合学科、歯科衛生学科では、「求人のための大学案内」を作成して各事業所等に送付し、応募先事業所の裾野の拡大に努めている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

全学生を対象に、毎年度定期健康診断を行っている。日常では、保健室に、学生支援課所属の看護師1人が常駐し、急病・外傷の応急処置、校医・学生相談室との連携による保健指導や学生相談受付など、学生の健康に関する支援を行っている。また、学生の健康維持をサポートするために「貧血予防教室」等、様々な健康教室を開催している。

メンタルヘルスケアに関しては、保健室の隣りに学生相談室を設け、兼任の臨床心理士1人（教員）と非常勤（週1回）の臨床心理士1人が、修学する上で抱えている課題や様々な悩みの相談対応を行っている。また、健康診断と同時にUPI（学生精神的健康調査）を全学生に対して実施し、その結果、対応が必要だと判断した学生に対して個別面談を行い、必要に応じて個別カウンセリングを行っている。

また、学生全員が学生教育研究災害傷害保険と学研災付帶賠償責任保険に加入し、万一のけがや事故の発生などに備えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大垣女子短期大学ホームページ

大学案内 → 大学情報の公表 → 専任教員一覧

<https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/teacher/>